

高齢者をはじめとする市民の皆さんの外出機会創出のために

## 10月1日から コミュニティバスを実験運行

市では現在、コミュニティバスを北部と南部の2ルートで運行しています。新たなルートを増設するために、今年度、中央林間西側、相模大塚、深見、桜ヶ丘の4地域で実験運行を実施します。

### ■まずは、中央林間西側地域と相模大塚地域で実施

実験運行では、乗客定員8人のワゴン車を使用し、これまで走行できなかった狭い路地もルートにしています。実験運行で得たデータを、1年後に予定する本格運行に反映します。



#### 中央林間西側地域 運行ルート



#### 相模大塚地域 運行ルート



#### 運行期間

10月1日(火)～来年3月31日(月) (年末年始を除く毎日)

#### 運行時間/間隔

午前8時～午後6時(来年1月～3月は午前7時～午後7時)/20分間隔※

#### 運賃

小学生以上一律150円

※来月1月～3月は、20分～30分の運行間隔となる予定です。

※深見地域と桜ヶ丘地域は、来年1月からの実験運行を予定しています。詳細が決まり次第、広報やまとなどでお知らせします。

問 市役所街づくり総務課街づくり調査担当 ☎(260)5444。

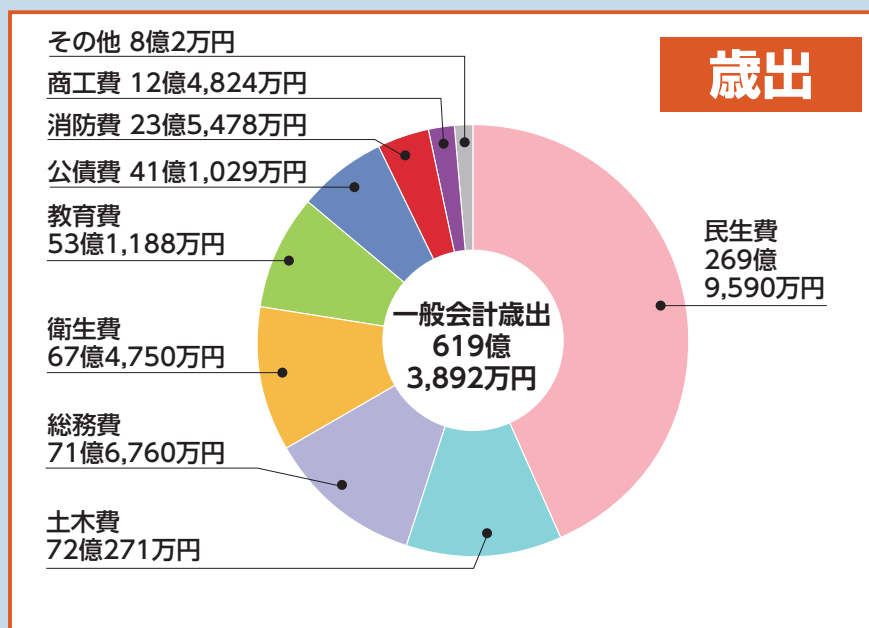
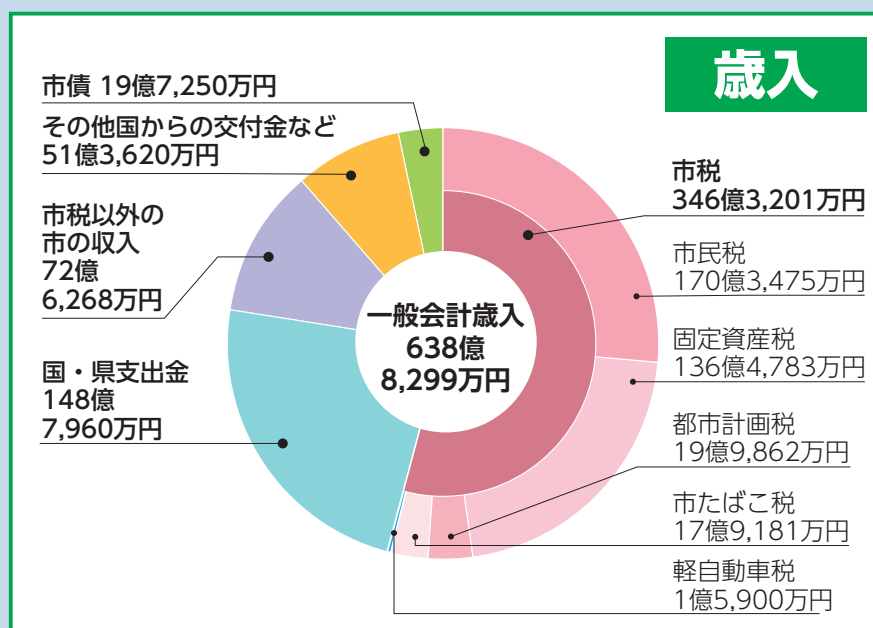


# 昨年度も健全な財政運営を実現

平成24年度の決算の概要がまとまりました。一般会計、病院事業ともに黒字となり、健全な財政運営を実現しています。



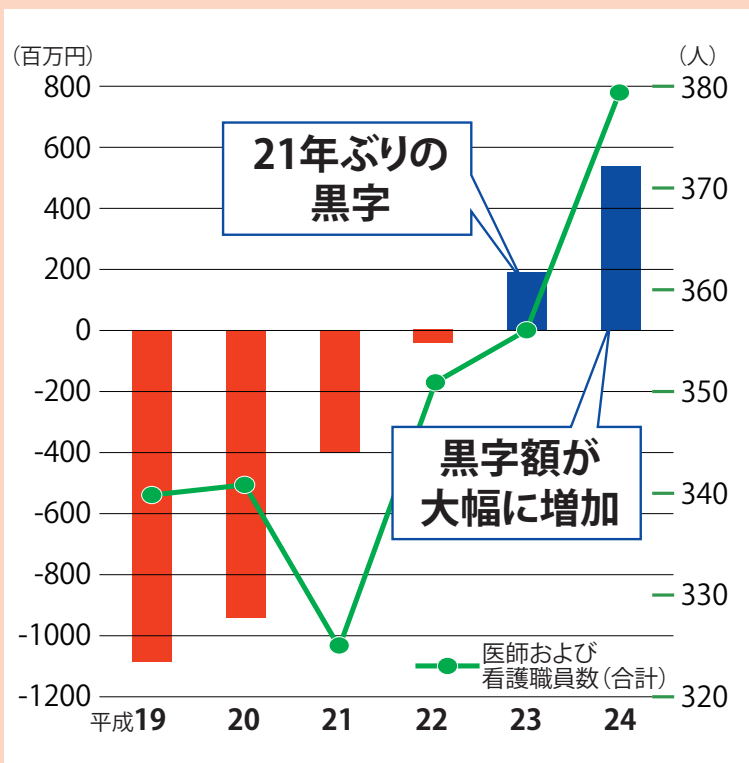
## 一般会計が実質19億円の黒字



- 市税収入は前年度比0.6%増(2億750万円)増加しました。
- 歳出は、生活保護事業や障がい者関連事業などの民生費、中学校防音設備整備事業など教育費の増加により6億8,143万円増となりました。
- 翌年度使う目的が決まっている金額を差し引いた実質収支は19億1,333万円の黒字となりました。うち9億7,200万円は貯金に、残りを25年度に繰り越しました。

問 市役所財政課財政担当 ☎(260)5324。

## 20年連続の赤字からの転換 市立病院が2年連続の黒字決算



### ■黒字額は約5億3,700万円

- 平成19年度決算で収益的収支が10億を超える赤字だった市立病院ですが、24年度には2年連続の黒字を達成しました。
- 黒字額は、21年ぶりの黒字となった23年度の約1億9,400万円を大きく上回る約5億3,700万円でした。

### ■人的面・機能面の充実が要因

- 平成17年度には50人に満たなかった常勤医師数が、22年度以降70人以上で推移しています。24年度には看護職員数も300人を超え、「7対1看護基準」を取得しました。
- NICU(新生児集中治療室)の増床、医療機器の更新により小児医療の拠点化や各種がん診療体制を強化しました。
- 取り組みの結果、来院患者数や病床利用率、手術件数が増加し、収入増につながっています。

問 市立病院病院総務課経営担当 ☎(260)0111(代)。

